

平成22年度新規事業報告書

「ふるさと学びあい推進事業」について

はじめに

今年度の新規事業としてスタートした「ふるさと学びあい推進事業」は、「ふるさと教育を推進する生涯学習団体等の指導者を育成するとともに、地域住民が身近なふるさとについて学びあう自主的な学習を振興する。」という趣旨のもと、次の2本の柱で構成されております。

- ① 郷土の自然、歴史、文化、産業、生活などについて学習を深めている生涯学習団体等が「ふるさととやま発見教室」を開催し、地域の親子や住民がふるさとの魅力を再発見し、郷土への誇りや愛着を深める機会を提供する。
- ② 「ふるさと学習指導者セミナー」を開催し、ふるさと教育を推進する生涯学習団体等の指導者やふるさと学習のボランティアを育成する。さらに、セミナー修了者を「はつらっ学びのリーダー」として認定する。

①の「ふるさととやま発見教室」は、10月と11月に、県内4地区において、各地区の生涯学習団体が主催し、子どもたちの参加も募って開かれました。各地区とも、事前に「ふるさとクイズ」や「ふるさと学びガイド」を作って、参加者の関心と理解を深める工夫をしました。見学コースの設定でも、体験型の活動を取り入れるなど、子どもたちにも楽しく学んでもらえるよう、配慮しました。参加者からは、ふるさとの素晴らしさを再認識できた喜びの言葉が数多く寄せられました。

②の「ふるさと学習指導者セミナー」は、6月から2月まで、計8回の講座を開催し、生涯学習とふるさと教育、指導者のスキル、イベント企画の手法と活用、指導者の地域貢献などのテーマで、専門家による講義とともに、生涯学習団体やボランティア団体で実際に取り組まれている事例などを学んでいただきました。参加者からは、「目標や手法など、今までに見えてこなかったものがセミナーを通して見えてきたようだ」など、参考になったという感想が多く寄せられました。

このように、手探り状態でスタートした今年度の事業でしたが、ある程度の成果が得られたのではないかと考えております。これもひとえに、指導者セミナーの講師の皆様、並びに発見教室でお世話をいただいた関係生涯学習団体の皆様、行き届いた準備と多大なご尽力のおかげであり、また、参加された皆様の熱心な学習意欲の賜物であります。紙面を借りて、ここに深く感謝申し上げますとともに、敬意を表する次第です。

皆様から寄せられた声を踏まえて、来年度は、一層充実した取り組みとなるよう、これら2本の柱を統合した一層実践的な指導者セミナーの実施や、各地区の生涯学習団体の周到な準備による発見教室の実施などを、検討しているところです。

いずれにしても、本県における「ふるさと学習」が、今後ますますその広がりや深まりを増していくよう願ってやみません。

富山県民生涯学習カレッジ
学長 加藤 敏久

も く じ

1	「ふるさと学びあい推進事業」概要		
(1)	実施要項	……	1
(2)	年間計画	……	2
2	「ふるさと学習指導者セミナー」概要		
(1)	実施要項	……	4
(2)	受講者募集ちらし	……	5
(3)	受講について	……	7
(4)	各セミナーの概要	……	8
(5)	受講者の企画一覧	……	16
(6)	セミナー総括	……	17
3	「ふるさととやま発見教室」概要		
(1)	実施要項	……	19
(2)	実施計画一覧	……	20
(3)	参加者募集ちらし（ふるさとクイズ）	……	21
(4)	各地区の実施概要	……	25
(5)	参加者アンケート結果	……	29
(6)	実施報告一覧	……	30
4	資料編		
(1)	「ふるさと学習指導者セミナー」関連 受講者の課題（企画書）、認定証等	……	31
(2)	「ふるさととやま発見教室」関連 申請書、実施計画書、報告書等	……	34
(3)	各地区の「ふるさと学びガイド」	……	38
5	今年度のまとめと次年度に向けて	……	46

1 「ふるさと学びあい推進事業」概要

(1) 実施要項

1 趣 旨

ふるさと教育を推進する生涯学習団体等の指導者を育成するとともに、地域住民が身近なふるさとについて学びあう自主的な学習を振興する。

2 概 要

郷土の自然、歴史、文化、産業、生活などについて学習を深めている生涯学習団体等が、「ふるさととやま発見教室」を開催し、地域の親子や住民がふるさとの魅力を再発見し、郷土への誇りや愛着を深める機会を提供する。

また、「ふるさと学習指導者セミナー」を開講し、ふるさと教育を推進する生涯学習団体等の指導者やふるさと学習のボランティアを育成する。さらに、セミナー修了者を「はつらつ学びのリーダー」として認定する。



県民カレッジ本部・富山県映像センター



高岡地区センター



新川地区センター



砺波地区センター

(2) 年間計画

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			
1	木			土			火			木			日			水	講師打ち合わせ	1	
2	金			日			水	講師打ち合わせ		金			月	礼状発送		木		2	
3	土			月	憲法記念日		木			土	第2回セミナー		火			金		3	
4	日			火	みどりの日		金			日			水			土	第5回セミナー	4	
5	月			水	こどもの日		土	第1回打合せ 第1回セミナー		月	計画書の提出①		木	実施書類の提出②		日		5	
6	火			木			日			火			金			月	礼状発送	6	
7	水			金			月	礼状発送		水	礼状発送		土			火		7	
8	木			土			火			木			日			水		8	
9	金			日			水			金			月	助成金の振込		木		9	
10	土			月			木			土			火	↓		金		10	
11	日			火			金			日			水				土		11
12	月			水			土			月			木				日		12
13	火	砺波地区生涯学習 団体協議会総会		木			日			火			金			月		13	
14	水			金			月			水			土			火		14	
15	木	新川地区生涯学習 団体協議会総会		土			火			木			日			水	講師打ち合わせ	15	
16	金	富山・高岡地区生涯学習 団体協議会総会		日			水			金	夏季講座		月			木		16	
17	土			月	セミナー受講生 募集締切		木			土	夏季講座		火			金		17	
18	日			火			金			日			水	講師打ち合わせ		土	第3回打合せ 第6回セミナー	18	
19	月	セミナー受講生募集 らし作成配布		水			土			月	海の日		木			日		19	
20	火			木			日			火			金			月	敬老の日	20	
21	水			金	教室実施申込 の回答期限		月			水			土	第4回セミナー		火		21	
22	木	課内会議		土			火			木			日			水	礼状発送	22	
23	金			日			水			金			月	礼状発送		木	秋分の日	23	
24	土			月			木			土			火			金	教室参加者募集 らし作成配布	24	
25	日			火			金			日			水			土		25	
26	月	セミナー受講生 募集開始		水	セミナー受講者 決定		土			月			木			日		26	
27	火			木			日			火			金			月		27	
28	水	教室実施申込 の照会		金	実施依頼書の 郵送		月			水	講師打ち合わせ		土			火		28	
29	木	昭和の日		土			火			木			日			水		29	
30	金			日			水	講師打ち合わせ		金			月			木		30	
31				月						土	第2回打合せ 第3回セミナー		火						
備考																			

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
1	金	教室参加者募集開始	月		水		土	元旦	火		火		1
2	土	第22回学遊祭	火		木		日		水	講師打ち合わせ	水		2
3	日		水	文化の日、「ふるさと教育推進フォーラム」	金		月		木		木		3
4	月		木		土		火	執務始め	金		金		4
5	火		金	高岡Cキャンパスフェスティバル	日		水		土	第8回セミナー	土		5
6	水		土	砺波Cキャンパスフェスティバル	月		木		日		日		6
7	木		日	↓	火		金		月		月		7
8	金		月		水		土		火		火		8
9	土		火		木		日		水	礼状発送	水		9
10	日		水		金		月	成人の日	木		木		10
11	月	体育の日	木	イベント保険加入	土		火		金	建国記念の日	金		11
12	火		金		日		水	講師打ち合わせ	土		土		12
13	水		土	富山地区発見教室実施	月		木		日		日		13
14	木		日	高岡地区発見教室実施	火		金		月		月		14
15	金	企画概要の提出①	月		水	企画書の提出②	土	教室実施報告会第7回セミナー	火		火		15
16	土	全国スポーツレクリエーション大会	火		木		日		水		水		16
17	日		水		金		月		木		木		17
18	月		木	富山地区教室総括 高岡地区教室総括	土		火		金		金		18
19	火		金	イベント保険加入	日		水	礼状発送	土		土		19
20	水		土		月		木		日		日		20
21	木	イベント保険加入	日	砺波地区発見教室実施	火		金		月		月	春分の日	21
22	金		月		水		土		火		火		22
23	土	新川地区発見教室実施	火	勤労感謝の日	木	天皇誕生日	日		水		水		23
24	日		水	砺波地区教室総括	金	教室実施報告書の提出	月		木		木		24
25	月		木		土		火		金		金		25
26	火		金		日		水		土		土		26
27	水	新川地区教室総括	土		月		木		日		日		27
28	木		日		火	執務納め	金		月	事業報告書作成	月		28
29	金		月		水		土				火		29
30	土	新川Cキャンパスフェスティバル	火		木		日				水	事業報告書配布	30
31	日				金		月				木		31
備考													

2 「ふるさと学習指導者セミナー」概要

(1) 実施要項

1 趣 旨

「ふるさと教育」を推進する生涯学習団体等の指導者やふるさと学習のボランティアを育成する。

2 期 間

平成22年6月5日（土）から平成23年2月5日（土）まで

3 会 場

県教育文化会館

4 対 象

- ・生涯学習団体等のリーダーとして活躍が期待できる人
- ・「ふるさと教育」の推進にボランティアとして活動を希望する人

5 定 員

60名程度

6 内 容

「ふるさと教育」を推進する生涯学習団体等の指導者を育成するためのセミナーを実施する。

7 受講料

1,620円

8 募集期間

平成22年4月26日（月）から5月17日（月）まで

9 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、切手80円分を添えて、県民カレッジ本部または地区センターの窓口を持参するか、県民カレッジ本部に郵送で申し込む。

10 その他

- ・「ふるさととやま発見教室」の実施団体はセミナーを無料で受講できる。
- ・セミナー修了者を「はつらつ学びのリーダー」として認定する。

(2) 受講者募集ちらし

富山県民生涯学習カレッジ「ふるさと学びあい推進事業」

8回講座

『ふるさと学習指導者セミナー』

平成22年6月5日(日)～平成23年2月5日(日)

詳細日程は裏面参照

午前の講座の場合

10:00～12:00

午後の講座の場合

14:00～16:00



生涯学習のマスコット
“マナビィ”
デザイン/石ノ森章太郎

ふるさと学習の指導者として
ふるさとの魅力を再発見し、
学習の成果を地域で活かしませんか。

県民カレッジでは、「ふるさと教育」を推進する生涯学習団体等の指導者を育成するためのセミナーを開催します。このセミナーは、県民カレッジ「ふるさと学びあい推進事業」として実施され、修了者は「はつらつ学びのリーダー」として認定されます。

対 象

- ・ふるさと富山を学ぶ地域住民、大学生
- ・郷土学習を行っている生涯学習団体、ボランティア
- ・ふるさと教育に関心のある生涯学習団体や学習グループ、ボランティア
- ・ふるさと富山について指導したいと考えている人

定 員

60名程度（申込者多数の場合、抽選を行い受講者を決定します。）

受 講 料

1,620円（裏面の申込用紙でお申し込みください。）
（受講決定後、決定通知文書に同封の用紙にて納入してください。）

会 場

富山県教育文化会館 5Fハイビジョン学習室

募集期間

平成22年4月26日(月)～平成22年5月17日(月) 必着

日時とテーマ・内容（講師の都合等で変更することがあります。）

1 基礎セミナー

回	日 時	学習テーマ	学 習 内 容
1	6/ 5(土) 14:00~16:00	生涯学習と「ふるさと教育」	基礎セミナーでは、 富山県のふるさと教育について研究します。 また、生涯学習指導者の役割や、指導者として必要なことなどについても学びます。
2	7/ 3(土) 14:00~16:00	生涯学習団体と ボランティア指導者	
3	7/ 31(土) 10:00~12:00	指導者の技能向上と コミュニケーション能力開発	

2 実践セミナー

回	日 時	学習テーマ	学 習 内 容
4	8/ 2(土) 10:00~12:00	イベント企画の手法と活用	実践セミナーでは、 地域イベントの運営方法について学び、皆さんの活動の成果を発表する場をどのように企画するかを研究します。
5	9/ 4(土) 10:00~12:00		
6	9/ 18(土) 10:00~12:00		

3 全体セミナー

回	日 時	学習テーマ	学 習 内 容
7	1/ 15(土) 14:00~16:00	報告会・総括	全体セミナーでは、 県内各地で行われているイベントの取り組み事例を紹介し、自分たちの活動に活かします。
8	2/ 5(土) 14:00~16:00	まとめ・評価・認定式	

各回の開講時間にご注意ください。

会場は教育文化会館5Fハイビジョン学習室です。

申込方法 受講申込書と受講申込結果通知書用の切手80円分を添えて、下記まで申し込みください。

申込方法	申込先・問合せ先	利用 時 間
・窓 口 ・郵 送	県民カレッジ本部 講座受付係 (〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 県教育文化会館内) TEL 076-441-8401	月曜・水曜～土曜日 9:00～19:00
	県民カレッジ新川地区センター 講座受付係 (魚津市木下新144 新川みどり野高校内) TEL 0765-22-4001	日曜日・祝日 9:00～17:00
窓口のみ	県民カレッジ砺波地区センター 講座受付係 (小矢部市清水95-1 となみ野高校内) TEL 0766-61-2020	(本部：火曜日・祝日の翌日・年末年始は休所日) (新川、砺波：火曜日・祝日・年末年始は休所日)
	県民カレッジ高岡地区センター 講座受付係 (高岡市末広町1-7「ウイング・ウイング高岡」内) TEL 0766-22-5787	月曜から土曜日 9:00～20:00 日曜日・祝日 9:00～17:00 (第4月曜日・年末年始は休所日)

----- 切 り 取 り 線 -----

県民カレッジ「ふるさと学習指導者セミナー」受講申込書

太枠内の項目をご記入ください。

		整理番号	
ふりがな		生 年	大・昭・平 年生まれ
氏 名		性 別	男 ・ 女
連絡先電話番号	() -	携帯番号	() -
連絡先住所	(〒 -)		

取得した個人情報、県民カレッジの講座運営以外で使用することはありません。
受講決定通知に同封の納入用紙により、受講料1,620円を納入していただきます。

(3) 受講について

《受講者のみなさんへ》

富山県生涯学習カレッジ

「ふるさと学習指導者セミナー」の受講について

「ふるさと学習指導者セミナー」に申込みいただき、ありがとうございます。
セミナーの受講にあたり、下記についてご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1 セミナー受講生には、セミナー初日の受付時に受講票をお渡しします。
- 2 受講票は、2回目以降は、受付係にご提出ください。受講票は各回のセミナー終了時にお返しします。
- 3 受講中は名札をお付けになり、各回のセミナー終了後に受付にお返しください。
- 4 次のいずれかに該当する場合は、受講票及び出席簿に出席印を押印できません。
 - (1) セミナーに20分以上遅刻された場合
 - (2) セミナー終了時刻の20分以上前に早退される場合
 - (3) 遅刻・早退の合計時間が20分以上の場合

* ただし、(1)の場合は当日資料をお渡しいたしますし、受講することもできます。
なお、(2)(3)の場合は受付時に担当者またはセミナー担当職員に早退の旨をお知らせください。
- 5 7割以上の出席回数のある方を修了認定します。ただし、レポート提出などの条件がある場合は、その条件を満たさなければ修了認定はしません。
- 6 修了証については、セミナーの全課程の修了後、「認定式」で交付する予定です。修了証を受領できない場合は、後日、受講票を持参のうえ、県民カレッジ本部か県民カレッジ地区センターの受付窓口でお受け取りください。
- 7 受講生の皆さんは、単なる受け身の受講ではなく、自らが能動的に講座展開に関わることで、講座への参画・意識を高めるとともに、生涯学習の基本である「ともに学び教えあう」形式を体感していただきたいと考えております。従って、講座の初回から、受付係、司会者、記録者などを受講者に割り当てて講座を展開いたします。
- 8 他の受講者に迷惑をかける言動があった場合には、ご退出願うことがあります。
(受講中は携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定をお願いします)
- 9 セミナーの途中に休憩時間を設けてありますが、講座展開等の都合により休憩時間を取れない場合は、各自で適宜休憩をお取りください。
- 10 会場の冷暖房を適切な温度に保てない場合がありますので、温度調節ができるよう各自で上着等をご用意ください。

(4) 各セミナーの概要

第1回（概要）

- 1 日 時 平成22年6月5日（土）14:00～16:00
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 25名（30名中）
- 4 スタッフ 加藤学長、石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員、
広瀬社教主事（県教委生涯学習・文化財室）
- 5 講 師 浅野 秀重 先生（金沢大学地域連携推進センター生涯学習部門長・教授）
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講演のみ：講師了承）

8 実施状況

(1) 受付 名札・受講票・講座ノート配布（スタッフ）

(2) 開講式 学長挨拶・激励の言葉（10分）

(3) オリエンテーション（10分）

- ・カレッジ概要
- ・事業の趣旨、経緯、修了後の取り組み
（各自で様々な仕掛け作りをお願いしたい）
- ・セミナーの進め方など

(4) 講演「住民主導の生涯学習地域づくり」（100分）

- ・学びとは
- ・地域とは
- ・地域における学習の対象
- ・地域づくりの拠点における連携・協力
- ・市町村の取り組み
- ・知の循環
- ・生涯学習とは

など様々なものの見方、切り口でサジェスチョンをいただいた

9 諸連絡

- ・本日の講座に質問疑問等はFAXなどでカレッジまで問い合わせしてほしい
取りまとめて講師取り次ぎの上、回答をフィードバックする
- ・次回講座確認



第2回（概要）

- 1 日 時 平成22年7月3日（土）14:00～16:10
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 24名（30名中）
- 4 スタッフ 加藤学長、石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員、広瀬社教主事
- 5 講 師 講義Ⅰ：金井 進 先生（富山県生涯学習団体協議会・会長）
講義Ⅱ：藤田 公仁子 先生（富山大学地域連携推進機構生涯学習部門・教授）
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講演のみ：講師了承）

8 実施状況

(1) 受付 名札・資料配布（スタッフ）

(2) 講義Ⅰ「富山県の生涯学習」（50分）

- ・社会教育の流れ
- ・生涯学習に関する答申と富山県の主な取り組み
- ・生涯学習の振興と基盤整備
- ・生涯学習機会の充実と社会への貢献
- ・新しい時代の生涯学習
- ・富山県が目指す生涯学習社会の姿
富山県生涯学習新世紀構想「学びあいビジョン」
「いつでもどこでもだれでも楽しく学び、
いきいき生きる、とやまの創造」

(3) 講義Ⅱ「生涯学習指導者のスキルアップⅠ」（50分）

- ・現在の社会状況
- ・「地域」の大切さ
- ・コミュニティ作りの大切さ
- ・ネットワークの構築
- ・受講者の自己紹介（1分間スピーチ）
受講者の現況、受講動機、最近気になっていることなど
- ・自己紹介を行った意図、目的
- ・コミュニケーションの大切さ
- ・次回講座内容についてアナウンス

(4) 各講義で質疑応答を設定。

感想等を記載する用紙を配付し、質問も可とした。

9 諸連絡

- ・次回講座確認等



第3回（概要）

- 1 日 時 平成22年7月31日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 23名（30名中）
- 4 スタッフ 石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員
- 5 講 師 講義Ⅰ：藤田 公仁子 先生（富山大学地域連携推進機構生涯学習部門・教授）
講義Ⅱ：郷田 千秋 先生（富山県総合教育センター教育相談部主任研究主事）

6 取 材 なし

7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講演のみ：講師了承）

8 実施状況

(1) 受付 名札・資料配布

(2) 講義Ⅰ「生涯学習指導者のスキルアップⅡ」（50分）

- ・ 前回の振り返り
- ・ 生涯学習をとりまく社会背景
地域の変化 → 地域住民
地域住民のマンパワーに期待
NPO、ボランティアの可能性
「グローバリゼーション」の進行（「グローバル」な時代）
行政との「協働」の可能性 など
- ・ 活動を続けていくためのコツ
- ・ 生涯学習 → 「ふるさと学習」の視点
- ・ 地域社会の課題、生活課題
- ・ 指導者として何が求められているか？
活動の可能性？
活動による「学び」の可能性
参加ですか？参画ですか？
楽しくなければ・・・。
次の学びは？ など

(3) 講義Ⅱ「団体の人間関係づくりについて」（70分）

- ・ リラックスすることから
- ・ 初めての出会いを大切にする
- ・ 自己紹介、他己紹介のポイント
- ・ 新聞紙ジグソーを通し、意思疎通の大切さを実感する
- ・ 本日の振り返り

(4) 各講義で質疑応答を設定。

9 諸連絡



第4回（概要）

- 1 日 時 平成22年8月21日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 22名（30名中）
- 4 スタッフ 石野副学長、佐々木学習専門員
- 5 講 師 武山 良三 先生（富山大学芸術文化学部 教授）
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講演のみ：講師了承）

8 実施状況

(1) 受付 名札・資料配布

(2) 講義Ⅰ イベント企画の手法と活用（110分）

①スライドを見ながら

・イントロダクション

「まちづくり」イベントに関わる経緯、きっかけ

・手がけたイベントについて

「RACDA高岡」の活動について、万葉線の活性化、イベントの魅力、苦勞など

②イベント企画について

・企画の目的は

何（誰）のためのイベントかを明確に
学習目的？ 発見・再発見？ 交流？ 発信？

・立案に係る諸問題を考える

時期・場所設定の大切さ

講演か、ワークショップか、フィールドワークか
資金提供は困難だが、物品の協力をお願いする
多少持ち出しもあるが、投資に見合った満足感を

・準備段階において

活動主体になる人選、物品の内容確認

下見、情報収集、事前学習の大切さ

・実施にあたり

安全対策、緊急連絡体制の確立、記録 etc.

・報告の大切さを知る

次回企画の根拠となる資料づくり

各方面への協力体制、渉外活動の資料

・魅力あるものにしていくには

独創性、継続性、関連性、社会性を意識する
なにより楽しい活動である事

(3) 質疑応答

9 諸連絡



第5回（概要）

- 1 日 時 平成22年9月4日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 22名（30名中）
- 4 スタッフ 石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員
- 5 講 師 黒部観光ボランティアの会会長 米屋 清美 先生
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講演のみ：講師了承）
- 8 実施状況
- (1) 受付 名札・資料配布
- (2) 講義 イベント企画の手法と活用「事例紹介」（100分）

①活動の経過と成果について

- ・PR活動
- ・地域に対する評価

②まち歩き観光開発のキーポイント

- ・住民と一体となった観光
住民が地域の価値を知り、価値を作り、価値を伝えることから観光が始まる。
- ・もてなしの心
観光ボランティア事務局が旅行会社との連絡対応1人でも、無料でご案内、スケジュールご提案
- ・しつらえの心
トイレの整備
観光誘導案内表示整備
ゼンマイ式音声ガイド装置の設置
- ・生地まち歩きフェスティバル（イベント協力）
- ・何気ない事に光をあてて関心を持つ（魅力再発見）

③これからの活動

- ・自分も楽しむこと
- ・できる事をする
- ・「また来られ」「また来っちゃ」という交流

(3) 質疑応答

9 諸連絡

次回の6回講座は9月18日。第7回講座は年明けの1月。それまでのあいだに、受講者による「ふるさと」の魅力を伝えるイベントや講座、クイズ、地域マップの作成などを企画して提出をお願いします。詳細は9月18日に資料配付。自遊塾で実現可能な講座の提案を期待。



第6回（概要）

- 1 日 時 平成22年9月18日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 18名（30名中）
- 4 スタッフ 石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員
- 5 講 師 大西 宏治 先生（富山大学人文学部 准教授）
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講演のみ：講師了承）

8 実施状況

(1) 受付 名札・資料配布

(2) 講義 テーマ「イベント企画の手法と活用」

- ① 富山県や全国各地の災害についての講義
- ② 富山市の市街地の災害に対する脆弱性について
 - ・新旧の地形図の比較から把握する
 - ・地形図の土地利用別の色塗りを体験
- ③ 会場周辺の地形について踏査観察
- ④ ③の踏査の軌跡を地図上に確認
- ⑤ まとめ

(3) 質疑応答

9 諸連絡

(1) 今後の日程について

- ・次回講座（1月15日）までの時間は、自主研修とする
- ・ふるさととやま発見教室への参加をお願いする

(2) ふるさととやま発見教室について

各地区の生涯学習団体が企画実施する体験型イベント

- ・新川地区：10月23日（土）9:00～15:30
- ・富山地区：11月13日（土）14:00～17:00
- ・高岡地区：11月14日（日）9:00～12:30
- ・砺波地区：11月21日（日）13:00～17:00

(3) 企画書の提出について

- 「ふるさと」についてのイベントや講座などを企画する
- ・個人による企画でもグループによる企画でも可能



第7回（概要）

- 1 日 時 平成23年1月15日（土）14：00～16：20
- 2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
- 3 受講者数 19名（25名中：途中病気等により5名受講中止）
- 4 スタッフ 石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員
- 5 講 師 浅野 秀重 先生（金沢大学地域推進連携センター 生涯学習部門長・教授）
- 6 取 材 北日本新聞社、富山新聞社
- 7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影

8 実施状況

(1) 受 付 名札・資料配布

(2) 事例紹介 ふるさととやま発見教室実施4団体の代表より実施状況の成果、課題について報告があった。
・新川地区 51名参加 ・富山地区 63名参加
・高岡地区 31名参加 ・砺波地区 65名参加

(3) 企画紹介 受講者11名より14の企画の提案があった。実現可能で、自遊塾県民教授として実績がある2つの提案についてプレゼンがあった。
・長谷田 一 氏（ふるさと歴史探訪、昔語り）
・松本 慎一 氏（ふるさと絶景を写真で綴る）

(4) 講 演 「住民が進めるふるさと教育について」

①講座企画

大枠決定、学習課題の把握、目標設定、学習優先度、TPO、興味を持たせるネーミング、事業評価等の重要性について

②事例紹介（地域との密着）

学校との連携、「校歌」とふるさと学習を考える

③人間関係づくり

一人ひとり「意味ある他者であること」

新しい形の「公共」の提案、実践

④ふるさと教育

「ふるさと」＝時間軸、生活環境、自然環境を共有し意思疎通を図り、一人ひとりが支え合う暮らしがあって感じられるもの

「学び」＝昨日と違った今日の自分、今日と違った明日の自分づくりのための行い



9 諸連絡

- ・次回日程について
- ・修了式および認定式の実施について

第8回（概要）

- 1 日 時 平成23年2月5日（土）14:00～16:00
2 場 所 富山県教育文化会館5階 ハイビジョン学習室
3 受講者数 17名（25名中）
4 スタッフ 加藤学長、石野副学長、亀井学習専門員、佐々木学習専門員
5 講 師 藤田 公仁子 先生（富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 教授）
6 取 材 なし
7 記 録 カメラ撮影、ビデオ撮影（講師了承）
8 実施状況

（1）講義 テーマ「生涯学習指導者の地域貢献」

- ① 地域で活躍していく・・・とは？
- ② 「学ぶ」環境→ 「活動する」環境
「活動していく環境」→「学ぶ」環境 という考え
- ③ 学ぶ姿→次世代へ・・・
 - ・生涯学習のプログラム ・今、必要なことは？
 - ・住民参画の姿は？ ・コミュニティーの将来的な姿は？
- ④ 生涯学習社会とは
- ⑤ コミュニティの現状
- ⑥ 活動企画のすばらしさ
 - ・企画参加者 →「新しい住民」との交流
 - ・地域 → 再発見
 - ・価値観 → 多様化
 - ・活動 → コミュニケーションの可能性
 - ・参加 → 参画へ
 - ・課題をみつける → 次の活動へ
- ⑦ 地域の学びをサポートする
 - ・コミュニケーションの豊かさ
 - ・学習課題を見つける
 - ・個人の学び → 地域の学び
- ⑧ 生涯学習のまちづくり・地域の活性化
- ⑨ ふるさと学習指導者として「地域貢献する」ということ
 - ・「地域」の魅力を知っているのは？
 - ・「ふるさと」の現在の姿は？
 - ・「ふるさと」の将来像を描いてみると？
- ⑩私のライフスタイルは？
 - ・「私の」学習プランは？
 - ・「豊か」に生きるとは？
 - ・「私らしく」生きるとは？
 - ・「学ぶ機会」は？

（2）修了式・・・セミナー受講者16名を修了認定

- ①「はつらつ学びのリーダー認定証授与」
- ②学長挨拶
- ③閉会・解散



(5) 受講者の企画一覧

NO	企画名（企画内容）	企画した理由	期待される効果	企画の概要
A	法に悖るリスク	病気や要介護者の増加および車社会における悲惨な事故の増加に鑑み、子供から年長者まで生涯にわたる達成、課題であると考えられる。 いずれも「法に悖るリスク」の欠如であり、これが認識できれば現状より改善できると考えた。	「法に悖る行為」は無知者が無知が理由である。それも「法に悖ることをリスク」を知らないが故に繰り返す反則には多大な損失と時間の無駄を伴うことを認識すれば確実に減少する。	①小宇宙の法則の原理・原則を認識させ、これに悖るならばリスクを伴うことを理解させ法に従う精神を養う。 ②道路交通法の原点である「危険」の理由を問う。これは道交法に悖るリスクと重大な関係にあり、危険理由の認識に依り無法者は確実に減少し悲惨な事故も減少すると考えられる。
B	ふるさと案内	県外に居る学友たちにクラス会の機会を捕らえ、県内でPR漏れの箇所を紹介し、よく知ってもらおう。	①学友たちが各自のグループ、家族で旅行時、再見学、再来訪が期待できる ②八尾町の「風の盆」は広く知られているが、門前町としての発展の経緯を知ってもらおう ③千光寺と上杉謙信との関連性について興味を持ってもらい、寺に関する見識を深めることになる	6月上旬に1泊2日のスケジュールで初日（午後）は千光寺、竹内源造記念館見学。いこいの村で宿泊。 2日目午前八尾町間名寺、曳山会館、和紙文庫等の見学。町内で昼食。 午後、富山駅にて解散。 予算1人17,000円程度を予定。
C	松茸十字軍（八尾の松茸の里山再生）	八尾はおわらだけではない。八尾の山を松茸を再生させ周年観光を目指す。	現在の農業技術で人工栽培も可能になりつつあり、八尾の山を宝の山に。	ボランティア50名の参加。 長期の取り組みになるが、挑戦。山の所有者との交渉ときんたろう倶楽部と協議を行う。 富山県林業組合やその他関係団体とタイアップ。
D	江戸の物売り（風俗）コンペ	チンドンコンクールに併せて江戸の物売りを再現（時代考証）と現代の物売りを創造し物売りコンペを全国に発信。	四季折々の出し物・ユーモアとパフォーマンスなど愉快で楽しい笑いを発信。新しい富山のイベントにしていく。	ボランティア50人の参加。 マスメディアとの共催。 大学生とコラボ。 会場は総曲輪グランドプラザを予定
E	越中徒鶴飼の再現（越中徒鶴飼の会）	富山市には夏の歴史的風物詩がない。かつて大伴家持が曾遊した神通川（当時此河）での徒鶴飼を再現する。かつて献上アユであった神通川アユをブランドとして発信。	観光と神通川アユのブランドを高めお盆などで帰省の方々のよい思い出づくり。	神通川河川で8月の花火大会と同時開催。鶴は借り受ける。将来はファミリーパークで飼う。 ボランティア30名。富山県内面漁業組合と協議。マスメディア共催。
F	富山城址案内・解説ボランティア会（千歳の会）	富山市の水、緑、やすらぎ、ゆとりの素晴らしい郷土博物館、佐藤美術館の書画などを解説し、公園を案内する。富山の歴史、文化、環境などを発信したい	観光と富山市中心街の活性化。公園の環境整備。	ボランティア50名。 勉強会の開催。
G	市政バスで砺波市を知る	砺波市の市政バスで砺波市の福祉や産業文化について学ぶ。	年金者組合の組合員は市政バスに乗って各施設や工場を見学することで、今後の各老人の生き甲斐を見つける。	砺波市役所に午前9時に集合。 市政バスで 砺波市健康センター 出町生きがいセンター とやまけん花総合センター （株）御菓蔵 高砂会館を巡回。
H	古代史に学ぶ国と郷土の成り立ち	古代人の暮らしぶりや生き様から現代を生きる知恵を学ぶ。	①国の成り立ちや国振りを再認識 ②国や郷土を取り巻く、諸外国との歴史的関わりを再考 ③愛国心や愛郷心の震源を再確認	古事記や日本書紀などの古典の寓話を引いて斎と政、衣食住、武器と戦争、遊びと芸、越の国建国の神々などのテーマを絵説きする。参加費1人1,500円程度
I	ふる里の森林浴探訪	森林セラピー（療法）という言葉が少しずつ聞かれるようになり、我がふる里（富山県）にも森林浴できるところがたくさんあると思われるので塾生とともに森林浴の学習をしたい。	森林浴は現代社会のストレスにも有効で、視覚、嗅覚、触覚、聴覚等の刺激のデータをとり、かつ、何らかの方法で発表できればふる里の森林浴PRとして利用できる。	森林浴に関する研究は欧米の法が進んでおり、その学習と実際の探訪によって理解を深める。 探訪候補地と遊歩道に杉チップ等を敷きつめた場所から順次探訪する。探訪しながら学習のレベルを上げていく。
J	名水・ふるさと探訪のサークル	インターネット市民塾で「ICTふるさと学習推進員養成講座」を受講し、「名水・ふるさと探訪のサークル」の講座講師として受講生を募集している。ブログやツイッターなどのITを活用している人がふるさとにも関心があれば受講生が多数集まる。	現在所属している「ふるさと探訪同好会」と「富山の名水を守る会」では定期的に名所や名水・旧史跡等を探訪していますが、今回は今までのノウハウをネットで行い、IT社会にどこまで効果を生むかを社会実験する。	講座の教材として現在の探訪の様子の写真を動画にして公開し、年数回のスクーリングを開催し、受講生とともに県内のふるさとを実地探訪する。その様子についてインターネットで動画配信する。 第1回目のスクーリングは11月上旬。
K	暮らしに香りを取り入れよう	最近のインターネット中心の社会で忘れられているのはリアリティであるように思われます。実際の自然の草花の香りを中心に身の回りにある身近な本物の自然の香りによる癒しを伝えたい。	身の回りのふとした草の香りにも気づきが生まれると思われま。五感を使って豊かなふるさとの香りに気づいて、日々の生活も取り入れられると思えます。	平安時代より薫香として伝わる藤袴の香りを実際の草をサンプル（家で育てて乾燥したもの）として持参して香りを感じ取る。視覚、聴覚だけでなく嗅覚、触覚、味覚の五感を使うことの大切さ、すぐそばにある豊かな自然を紹介。 10人程度の講座で無料とする。
L	写真で撮る「絶景富山」の特等席めぐり（四季版）	①いつまでも残しておきたいふるさと富山の絶景の数々をベストシーズン、ベストポイントで「特等席」巡りし、自分の目で肌で体感し、感動してもらい写真に撮り富山県に誇りを感じてもらおう。 ②一人ではなかなか行けないわからない所をグループで学習、体験してもらおう	①絶景ポイントおよび周辺の文化遺産やグルメ、温泉情報などの学習をすることでふるさと富山のお宝再発見の旅をおこなう ②撮った富山の絶景情報を人に見せる、伝えるなどの情報発信 ③特定多数一年賀状やメール、不特定多数→ブログ、HP	自遊塾で実施したものの年間を通したバージョン。 参加費用1人1回1,000円程度。 現地集合。
M	広域圏富山市の「まち歩きマップ、歴史編」を作ろう	富山市が広域圏合併して地理的に広がった。その地域には歴史的名所が多いが、知られていないところも多いことから、まちあるきマップを作成しPR。	観光客誘致。	
N	城跡をみて戦国時代にタイムスリップ	戦国時代の平城（安田城）をみて、少しでも古学に興味を持ち入門のきっかけ作りとなる	城跡に興味を持ち、子供から大人まで考古学入門のきっかけとなる。	「安田城」に直接集合。歩いて、見て、聞いて戦国時代にタイムスリップして悠久の時に浸る。

(6) ふるさと学習指導者セミナー総括

1 事業実施概要

「ふるさと教育」を推進する生涯学習団体等の指導者やふるさと学習のボランティアを育成することを目的に実施した。施設ボランティアや自遊塾県民教授、講師経験のある方々、町歩きなどの地域活動を実施されている方々が参加し熱心に受講された。

8回の講座を基礎、実践、全体セミナーとして構成し、基礎セミナーでは、「生涯学習とふるさと教育について」、「生涯学習団体とボランティア指導者の役割」、「指導者の技能向上とコミュニケーション能力開発」などについて講義や演習を行った。実践セミナーではイベント企画の手法と活用について、事例研究を行った。全体セミナーでは受講生による「ふるさと学習に関する企画」を紹介し、意見交換を行った。また「住民が進めるふるさと教育」、「生涯学習指導者の地域貢献」の講義題で大学教授より講演をいただいた。16名がセミナーを修了し、はつらつ学びのリーダーとして認定された。(修了率64%)

2 成果

- ・「ふるさと学習に関する企画」をもとに、自遊塾等で実施する講座が誕生した。
- ・他の企画についてもふるさととやま発見教室実施団体として活躍が期待できる。
- ・「ふるさと」というキーワードを敏感にキャッチし、学習を深める一助となった。
- ・様々な活動に対して、単なる「参加」から「参画」へと意識が高まった。

3 課題

- ・県民の高い学習意欲と社会貢献意欲に対して、それを活用する仕組みを確立し、「学び」を更に高めるために必要な「学習成果の還元の間」が必要である。
- ・企画を実現させるための実践的なセミナーを充実し、指導者のスキルアップを図ることが求められる。
- ・人材をいかにして各市町村や生涯学習施設と連携を取りながら活用していくか。

4 その他

23年度も引き続きふるさと学習セミナーを開催するが、より実践的なセミナーになるように努めて参りたい。

「ふるさと学習指導者セミナー」学習テーマ、内容、講師一覧

回	月日	学習テーマ	学習内容 (変更の場合あり)	講師
1	6/5 (土) 14:00~ 16:00	生涯学習と「ふるさと教育」	・ 講演「住民主導の生涯学習地域づくり」	金沢大学 地域連携推進センター 生涯学習部門長 教授 浅野秀重 先生
2	7/3 (土) 14:00~ 16:00	生涯学習団体とボランティア指導者	・ 講義「富山県の生涯学習について」	富山県生涯学習団体協議会 会長 金井 進 先生
			・ 演習「生涯学習指導者のスキルアップⅠ」	富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門 教授 藤田公仁子 先生
3	7/31 (土) 10:00~ 12:00	指導者の技能向上とコミュニケーション能力開発	・ 演習「生涯学習指導者のスキルアップⅡ」	富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門 教授 藤田公仁子 先生
			・ 演習「団体の人間関係づくりについて」	富山県総合教育センター 教育相談部 主任研究主事 郷田千秋 先生
4	8/21 (土) 10:00~ 12:00	実践セミナー イベント企画の手法と活用	・ 演習「ふるさと学びガイドの企画について」	富山大学 芸術文化学部 教授 武山良三 先生
5	9/4 (土) 10:00~ 12:00		・ 「事例紹介」	黒部観光ボランティアの会 会長 米屋清美 先生
6	9/18 (土) 10:00~ 12:00		・ 講義「地域イベントの運営について」	富山大学人文学部 准教授 大西宏治 先生
7	1/15 (土) 14:00~ 16:00	全体セミナー 報告会・総括	・ 発表「各地区の取り組みの紹介」 ・ 受講者企画プレゼンテーション	発見教室実施4団体
			・ 講義「住民が進めるふるさと教育」	金沢大学地 域連携推進センター 生涯学習部門長 教授 浅野秀重 先生
8	2/5 (土) 14:00~ 16:00	まとめ・評価	・ 講義「生涯学習指導者の地域貢献」	富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門 教授 藤田公仁子 先生

※ 修了者16名を「はつらつ学びのリーダー」として認定 (2/5)

3 「ふるさととやま発見教室」概要

(1) 実施要項

1 趣 旨

郷土の学習を行っている生涯学習団体等が中心となり企画、運営する「ふるさととやま発見教室」の開催を支援する。これにより、参加する地域の親子や住民がふるさとの魅力を再発見し、郷土への誇りや愛着を深めることを目指す。

2 開催期日

実施団体が設定。

3 開催場所

新川、富山、高岡、砺波の4地区において各1箇所。

実施するエリアは、徒歩で行える小学校区程度とし、実施団体が設定。

4 実施内容

(1) 「ふるさととやま発見教室」は、現地学習を主とする。

(2) 「ふるさととやま発見教室」の実施は、3時間程度とする。

(3) 実施団体は、自然、歴史、文化、産業、生活などの分野から、ふるさと学習のテーマを設定する。

(4) 実施団体は、見どころ、マップ、学習ルートなどを記載した「ふるさと学びガイド」を作成する。「ふるさととやま発見教室」の教材として、「ふるさと学びガイド」を使用する。

5 支援内容

(1) 経費の助成

① 「ふるさと学びガイド」印刷代、取材費等、教室開催に伴う経費として、1教室につき10万円を上限に助成する。

なお、助成金の交付にあたっては計画書と実施報告書を提出する。

② イベント傷害保険料は、富山県民生涯学習カレッジが負担する。

(2) その他

富山県民生涯学習カレッジは、各地区における事前学習のための学習室の使用、参加者募集、および当日の実施について協力する。

6 その他

(1) 実施団体のメンバーは、「ふるさと学習指導者セミナー」を受講できる。

(2) 「ふるさととやま発見教室」の参加者には、修了証を発行し、希望者には県民カレッジ5単位を認定する。

(2) 実施計画一覧

地区	実施団体名	実施日時	実施条件	実施地域	集合場所	学習テーマ	実施概要	定員	募集期間	スタッフ代表	担当
新川	黒部川扇状地研究所	10/23 (土) 9:00~ 15:30	小雨決行	黒部川扇状地右岸	入善まちなか交流館 うるおい館 下新川郡入善町 入膳5232-5	「ウォーターランド黒部川扇状地一周！」	バスで黒部川扇状地右岸を一周する。広がる自然を扇央、扇頂、扇端からの風景を見る。 うるおい館→下山発電所美術館→墓の木自然公園→愛本橋→霞堤→板屋→杉沢の沢スギ林→うるおい館	50名程 バス2台	10/1 (金)~ 10/18 (月)	○廣田登 吉島雄一 内山真之 木下敏 井田博隆 清水知香子 石原裕美 広瀬修 松島孝司	新川地区センター 森山 学習専門員 0765-22-4001
富山	蜷川地区ふるさとづくり推進協議会	11/13 (土) 14:00~ 17:00	小雨決行	富山市立蜷川小学校区	最勝寺 御堂 富山市蜷川377	「昔の蜷川を知ろう！」	本堂で最勝寺城と蜷川親直氏の話を聴く。最勝寺の阿弥陀三尊を拝み、庭の汗かき地蔵の紙芝居を鑑賞する。 蜷川全体の映画とスライド(昭和46年制作)を上映する。 最勝寺→寺の庭(汗かき地蔵)→最勝寺周辺→蜷川寺→諏訪神社→八坂神社(黒崎)	50名程	10/1 (金)~ 11/13 (土) 当日受付 有り	○村上和子 田中政一 (中村太一路) 中尾英力 (横道久寿雄) (小杉隆広) 谷内良徹	県民カレッジ本部 若崎 学習専門員 076-441-8401
高岡	小杉ボランティア「こだまグループ」	11/14 (日) 9:00~ 12:00	小雨決行	射水市立小杉小学校区	三ヶ公民館 射水市 三ヶ 1045-1	「校下の寺院や神社の由来を知ろう！」	小杉小学校区を歩いて寺院や神社の由来を調べ地域のつながりを深めて地域の再発見をする。 公民館→三ヶ→大江→戸破→公民館	40名程	10/1 (金)~ 11/5 (金)	○堀田紀子 山崎良子 松木美枝子 高畑義弘 (PTA)	高岡地区センター 亀谷 学習専門員 0766-22-5787
砺波	ふるさと学園・桜町縄文土器の会	11/21 (日) 13:00~ 17:00	雨天決行	小矢部市桜町地域他	桜町JOMONパーク 小矢部市桜町 字中出1716-1	「小矢部のいいしえ人の足跡をたどろう！」	小矢部市内の縄文時代、古墳時代、奈良時代の人々の足跡を文化財を中心にたどり文化の深さを認識する。 桜町JOMONパーク→桜町遺跡→ふるさと歴史館→若宮古墳→俱利伽羅源平の郷壇生口→古代北陸道跡をたどる。	30名程 バス1台	10/1 (金)~ 11/1 (月)	○中村敏子 今度孝 田井村勇二 多賀庸子 岡部紀子	砺波地区センター 宮崎 学習専門員 0766-61-2020

(3) 参加者募集ちらし（ふるさとクイズ）

富山県民生涯学習カレッジ「ふるさと学びあい推進事業」

ふるさととやま発見教室

参

加

者

募

集



募集開始：平成22年10月1日（金）～

「ふるさととやま発見教室」とは？

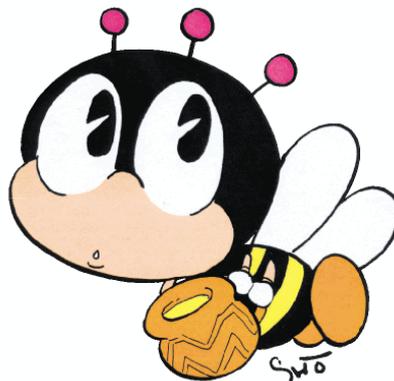
地域でふるさとの魅力を学習している方々が先生となって、だれでも参加できる体験型のイベントです。

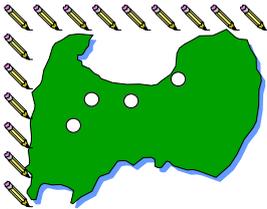
見どころ、マップ、学習ルートなどが書かれた「ふるさと学びガイド」を使って、楽しくわかりやすくふるさとの魅力を学ぶことができます。

また、各地域の「ふるさとクイズ」の答えをさがします。

今年度は、新川、富山、高岡、砺波の4地区の地域で開催します。

みなさんの参加をお願いします。





「ふるさととやま発見教室」参加申込書

※太枠内の項目をご記入ください。

参加のしかた に○をつける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者（代表者）と子どものグループ ・ おとなのグループまたは個人 	整理 番号
------------------	--	----------

ふりがな		年齢	住所（〒 — ）
保護者 (代表者)			TEL（ ） —
ふりがな		年齢	住所（〒 — ）
氏名	続柄（ ）		
ふりがな		年齢	住所（〒 — ）
氏名	続柄（ ）		
ふりがな		年齢	住所（〒 — ）
氏名	続柄（ ）		
希望地区 に○（1 つだけ）	新川	富山	高岡 砺波

※ ご記入いただいた個人情報、ふるさととやま発見教室の運営以外に使用することはありません。
 ※ 申し込みとっしょに、各地区の「ふるさとクイズ」に答えてみよう。

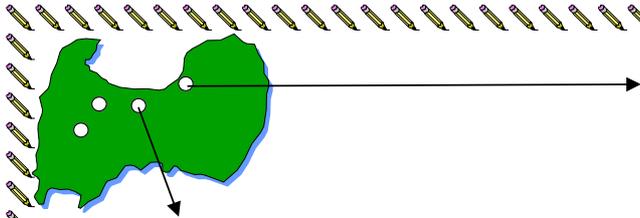
新川地区：問1（ ）問2（ ）	富山地区：問1（ ）問2（ ）
高岡地区：問1（ ）問2（ ）	砺波地区：問1（ ）問2（ ）

・ この参加申込書で、各地区の募集期間を確認の上、次の申込先
 もしくは各地区の実施団体まで申し込みください。
 ・ 定員になりしだい募集を締め切らせていただきます。



申込方法	申込先・問合せ先	利用時間
窓口 郵送	県民カレッジ本部 発見教室受付係 (〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 県教育文化会館内) TEL 076-441-8401	月・水～土曜日 9:00～19:00 日曜・祝日 9:00～17:00 (火曜日・祝日の翌日・年末年始は休所日)
	県民カレッジ新川地区センター 発見教室受付係 (魚津市木下新144 新川みどり野高校内) TEL 0765-22-4001	月・水～土曜日 9:00～19:00 日曜日 9:00～17:00 (火曜日・祝日・年末年始は休所日)
窓口のみ	県民カレッジ砺波地区センター 発見教室受付係 (小矢部市清水95-1 となみ野高校内) TEL 0766-61-2020	月・水～土曜日 9:00～19:00 日曜日 9:00～17:00 (火曜日・祝日・年末年始は休所日)
	県民カレッジ高岡地区センター 発見教室受付係 (高岡市末広町1-7 「ウイング・ウイング 高岡」内) TEL 0766-22-5787	月～土曜日 9:00～20:00 日曜・祝日 9:00～17:00 (第4月曜日・年末年始は休所日)

※ 単位認定を希望する方には、5単位を認定します。当日申し出てください。



(富山地区) 富山市立蜷川小学校区
蜷川地区ふるさとづくり推進協議会

日時：11月13日(土) 14:00~17:00
(小雨決行)

集合場所：最勝寺本堂

内容：「昔の蜷川を知ろう！」

定員：50名

持ち物：筆記用具、水筒、雨具

募集期間：10/1(金)~11/13(土)
当日受付可

「ふるさとクイズ in 富山地区」

第1問 汗かき地ぞう

汗かき地ぞうは、どんな時に汗をかくのでしょうか？

- ①暑い時 ②はずかしい時 ③火事の時

第2問 最勝寺

最勝寺は、いつ頃建てられたのでしょうか？

- ①鎌倉時代 ②室町時代 ③安土・桃山時代



最勝寺の汗かき地ぞう

【問い合わせ先】

◎蜷川ふるさとづくり推進協議会
(蜷川地区センター内)
代表 田中 政一
939-8064 富山市赤田 50
TEL 076-421-2971 (岡本)

◎県民カレッジ本部

富山市舟橋北町7-1 (県教育文化会館内)
TEL 076-441-8401

(新川地区) 黒部川扇状地右岸
黒部川扇状地研究所

日時：10月23日(土) 9:00~15:30
(小雨決行)

集合場所：うるおい館 (JR入善駅より徒歩5分)

内容：「ウォーターランド
黒部川扇状地一周！」

定員：50名

持ち物：筆記用具、弁当、水筒、雨具、
水に濡れてもよい履き物
(水生生物観察のため)

募集期間：10/1(金)~10/18(月)

「ふるさとクイズ in 新川地区」

第1問 黒部川に架かる橋

黒部川扇状地には「愛本橋」を含め何本の橋があるのでしょうか？

- ①5本 ②8本 ③10本

第2問 巨大カボチャ

入善町新屋地区で生産されている巨大カボチャは一昨年、日本一となりました。さて、重さは何kgあったのでしょうか？

- ①330.9 kg ②430.9 kg ③530.9 kg

【問い合わせ先】

◎黒部川扇状地研究所

所長 水嶋 一雄 事務局長 吉島 雄一
939-0626 下新川郡入善町入膳 5232-5
TEL 0765-72-0013

◎県民カレッジ新川地区センター

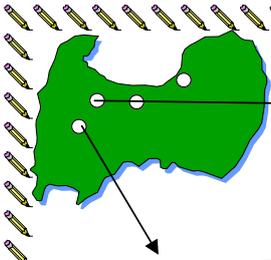
魚津市木下新144 (新川みどり野高校内)
TEL 0765-22-4001



黒部川扇状地の全景

<国土交通省黒部河川事務所作成>





(高岡地区) 射水市立小杉小学校区
小杉ボランティア「こだまグループ」

(砺波地区) 小矢部市桜町地域他
ふるさと学園・桜町縄文土器の会

日 時：11月14日(日) 9:00~12:00
(小雨決行)
集合場所：三ヶ公民館
内 容：「校下の寺院や神社の由来を
知ろう！」
定 員：40名
持 ち 物：筆記用具、水筒、雨具
募集期間：10/1(金)~11/5(金)

日 時：11月21日(日) 13:00~17:00
(雨天決行)
集合場所：桜町JOMONパーク
内 容：「小矢部のいにしえ人の足跡を
たどろう！」
定 員：30名
持 ち 物：筆記用具、水筒、雨具
募集期間：10/1(金)~11/1(月)

「ふるさとクイズ in 高岡地区」

第1問 神馬
十社の宮に木造神馬(白馬・黒馬)一対が
あります。白と黒の馬ですが、この馬の舌が
動きます。それはどの色の神馬でしょうか？
①白馬 ②黒馬 ③両方とも

第2問 千本桜
下条川沿いに桜並木があります。その桜は
千本桜と呼ばれていますが、本当は何本あるの
でしょうか？
①1880本 ②950本 ③1000本

「ふるさとクイズ in 砺波地区」

第1問 桜町遺跡
桜町遺跡から高度な木工技術が見られる
建築部材が出土している。何時代のもので
しょうか？
①縄文時代 ②弥生時代 ③奈良時代

第2問 若宮古墳
古墳時代につくられたお墓、若宮古墳は
どんな形だったでしょうか？
①円墳 ②前方後方墳 ③前方後円墳



いにしえ人の道具

【問い合わせ先】
◎小杉ボランティア「こだまグループ」
代表 堀田 紀子
939-0341 射水市三ヶ 2280
TEL 0766-56-1393
◎県民カレッジ高岡地区センター
高岡市末広町1-7(「ウイング・ウイング 高岡」内)
TEL 0766-22-5787

【問い合わせ先】
◎ふるさと学園・縄文土器の会
代表 中村 敏子
932-0042 小矢部市西福町 6-7
TEL 0766-67-3437
◎県民カレッジ砺波地区センター
小矢部市清水95-1(となみ野高校内)
TEL 0766-61-2020



(4) 各地区の実施概要

新川地区(概要)

- 1 日 時 平成22年10月23日(日) 9:00~15:30
- 2 場 所 黒部川扇状地右岸
- 3 参加者数 51名(うち子供24名)
- 4 スタッフ 「黒部川扇状地研究所」事務局長 吉島雄一氏、実施責任者 廣田登氏 他11名
- 5 テー マ ウォーターランド黒部川扇状地一周!
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影(画像54枚)
- 8 実施状況 天候(快晴)



- (1) 集合(入善まちなかうるおい館)受付
「ふるさと学びガイド」、詳細資料(別紙)を配布
開講式後、マイクロバス2台に分乗し、現地学習出発

- (2) 現地学習は以下のルートで実施

- ① 下山発電所美術館
・旧発電所の美術館見学
・展望塔から扇状地、山々の観察



- ② 墓ノ木自然公園
・河岸段丘から黒部川の様子
・第1発電所と右岸合口用水



- ③ 愛本橋
・沈砂池と下流の観察
・旧愛本橋と現在の愛本橋



- ④ 友学館
・黒部川のVTR鑑賞
・館内見学(庭付近で昼食)



- ⑤ 霞堤
・堤防跡の見学

- ⑥ 板屋
・庄助川で体験・観察

- ⑦ 高瀬の湧き水試飲
・湧き水の学習

- ⑧ 杉沢の沢スギ林
・園内にて沢スギの観察
・展望より扇状部からの観察
・閉講式
・修了証と単位シール、アンケート



- (3) 解散(入善まちなかうるおい館)

- 9 アンケート結果 (詳細別紙)

富山地区(概要)

- 1 日 時 平成22年11月13日(土) 14:00~16:45
- 2 場 所 富山市立蛭川小学校区
- 3 参加者数 63名(うち子供11名)
- 4 スタッフ 「蛭川地区ふるさとづくり推進協議会」実施責任者 村上和子氏 他3名
- 5 テー マ 昔の蛭川を知ろう!
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影(画像34枚)
- 8 実施状況 天候(晴れ)

- (1) 集合(最勝寺前)受付
「ふるさと学びガイド」配布
詳細資料(別紙)を配布
開講式(挨拶)



- (2) 現地学習は以下のルートで実施
 - ① お話し 中尾英力(歴史研究家)
 - ・歴史を学ぶとは



- ② お話し 最勝寺副住職
 - ・最勝寺と蛭川の歴史
 - ・言い伝え



- ③ お話し 八坂神社宮司
 - ・八坂神社と蛭川の歴史
 - ・言い伝え

- ④ 最勝寺の文化財を鑑賞
 - ・阿弥陀三尊立像(内陣)
 - ・火消し地藏(汗かき地藏)



- ⑤ 蛭川寺
 - ・本堂で住職よりお話し

- ⑥ 諏訪神社
 - ・神社の見学

- ⑦ 八坂神社
 - ・宮司より社家に残る遺産の説明
 - ・閉講式(挨拶)
 - ・修了証と単位シール配布
 - ・アンケート実施



- (3) 解散(八坂神社にて)

- 9 アンケート結果 (詳細別紙)



高岡地区(概要)

- 1 日 時 平成22年11月14日(日) 9:00~12:15
- 2 場 所 射水市立小杉小学校区
- 3 参加者数 31名(うち子供4名)
- 4 スタッフ 小杉ボランティア「こだまグループ」堀田紀子氏 他3名
- 5 テー マ 校下の寺院や神社の由来を知らう!
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影(画像30枚)
- 8 実施状況 天候(晴れ)

- (2) 集合(三ヶ公民館)受付
 「ふるさと学びガイド」配布
 修了証と単位シール、アンケート配布
 開講式(挨拶)
 徒歩で現地学習出発

(2) 現地学習は以下のルートで実施

- ① 西土寺
 - ・梵鐘(市工芸品)
 - ・加賀藩主の御位牌を安置した石門
 - ・本堂の見学
- ② 十社宮
 - ・拝殿で宮司より十社宮と歴史の学習
 - ・木造神馬一對(市指定文化財)
 - ・十社大神と文化財の鑑賞
- ③ 蓮王寺
 - ・本堂で住職より蓮王寺と歴史の学習
 - ・大仏(内陣)の見学
- ⑨ 藤井右門
 - ・右門の功績と歴史の学習
 - 講師: 稲田会長
(高岡地区生涯学習団体協議会)
- ⑩ 加茂社
 - ・拝殿で宮司より加茂社と歴史の学習
 - ・閉講式(挨拶)
 - ・アンケート回収

(3) 解散(加茂社にて)

- 9 アンケート結果 (詳細別紙)



砺波地区(概要)

- 1 日 時 平成22年11月21日(日) 13:00~16:15
- 2 場 所 桜町JOMONパーク
- 3 参加者数 65名(うち子供33名)
- 4 スタッフ ふるさと学園・桜町縄文土器の会 6名
- 5 テー マ 「小矢部のいにしえ人の足跡をたどろう！」
- 6 取 材 あり(富山新聞社)
- 7 記 録 カメラ撮影(画像72枚)
- 8 実施状況 天候(快晴)

- (3) 集合(桜町JOMONパーク) 受付
「ふるさと学びガイド」、資料(別紙)を配布
開講式後、現地学習(マイクロバス2台を使用)

- (2) 現地学習は以下のルートで実施

- ① 桜町遺跡の現場
 - ・遺跡発見と発掘の状況
 - ・縄文のむら桜町の様子
 - ・桜町縄文人の生活
- ② (1号車) 小矢部ふるさと歴史館
 - ・若宮古墳の出土品
 - ・桜町遺跡の出土品
 - ・谷内21号墳の出土品※(2号車) 若宮古墳
- ③ (1号車) 若宮古墳
 - ・前方後円墳
 - ・いにしえ人の生活※(2号車) 小矢部ふるさと歴史館
- ⑪ 源平の郷(自由見学)
 - ・義仲と巴御前
 - ・源平の合戦
- ⑫ 小矢部川河岸段丘の説明
- ⑬ 古代北陸道の説明
- ⑭ 桜町JOMONパーク
 - ・閉講式
 - ・修了証と単位シール
 - ・アンケート

- (3) 解散(桜町JOMONパーク)

- 9 アンケート結果 (詳細別紙)



(5) 参加者アンケート結果

【新川地区】回答者：子供21人 大人18人					
	項目	たいへん良い	良い	あまり良くない	良くない
1	学習の内容	子供16	子供5	0	0
		大人11	大人7		
2	ふるさとクイズ	子供6	子供13	子供2	0
		大人5	大人12	大人1	
3	ふるさととやま 学びガイド	子供12	子供7	子供2	0
		大人12	大人6	大人0	
4	時間帯	子供16	子供3	子供2	0
		大人13	大人4	大人1	
5	教室の雰囲気	子供20	子供1	0	0
		大人13	大人5		

【富山地区】回答者：子供8人 大人28人					
	項目	たいへん良い	良い	あまり良くない	良くない
1	学習の内容	子供4	子供4	0	0
		大人7	大人14		
2	ふるさとクイズ	子供3	子供4	子供1	0
		大人2	大人17	大人0	
3	ふるさととやま 学びガイド	子供5	子供2	0	0
		大人9	大人11		
4	時間帯	子供1	子供4	子供2	子供1
		大人3	大人12	大人5	大人1
5	教室の雰囲気	子供4	子供4	子供0	0
		大人5	大人14	大人2	

【高岡地区】回答者：子供4人 大人21人					
	項目	たいへん良い	良い	あまり良くない	良くない
1	学習の内容	子供2	子供2	子供0	0
		大人13	大人6	大人1	
2	ふるさとクイズ	子供1	子供2	子供1	0
		大人8	大人4	大人0	
3	ふるさととやま 学びガイド	子供0	子供4	子供0	0
		大人14	大人5	大人1	
4	時間帯	子供1	子供3	子供0	0
		大人9	大人7	大人4	
5	教室の雰囲気	子供1	子供3	0	0
		大人9	大人9		

【砺波地区】回答者：子供33人 大人27人					
	項目	たいへん良い	良い	あまり良くない	良くない
1	学習の内容	子供13	子供18	子供2	0
		大人15	大人12	大人0	
2	ふるさとクイズ	子供9	子供21	子供2	0
		大人8	大人12	大人0	
3	ふるさととやま 学びガイド	子供10	子供21	子供2	0
		大人15	大人11	大人0	
4	時間帯	子供12	子供18	子供3	0
		大人18	大人8	大人1	
5	教室の雰囲気	子供8	子供15	子供8	子供2
		大人16	大人11	大人0	大人0

【新川地区の感想】

扇状地についてたくさん学習できたので、とてもよかったです。あばれる黒部川をおさえる工夫を昔の人はたくさんして、だから今、こうして平和に暮らせるのだなあと思いました。感動です。とても思い出になりました。ありがとうございました。

川のことや水などのことをたくさん知って、勉強になったのでよかったです。しょうすけ川ではいろいろな生き物がいて、見たこともない生き物がいたのでうれしかったです。一日すごく楽しかったし、いろいろなことが分かってよかったなと思いました。

地元に住んでいてもなかなかここまで学べませんので、とてもよい経験でした。もっとたくさんの子どもや大人の人たちもこれからこの企画に参加してほしいです。

世話人の一人ですが、参加者が多くてびっくりしました。このような企画を待っている人が多いことがわかりました。もっと早く(二か月前くらい)、募集をかけたらよいと思います。低学年の子も興味と意欲があることがよくわかりました。

【富山地区の感想】

昔の蜷川について、よく知れたからよかったと思います。楽しかったです。お寺とか神社がいっぱいあってびっくりしました。

校下に居ながら知らないことばかりで、住職さんや宮司さんに質問ばかりしていました。大変参考になりました。

改めて郷土の歴史を知り大変良かったです。これを期に郷土の文化を大切に、大いに広げていきたいと思っています。

【高岡地区の感想】

色々と歴史を学べてよかった。新しいこともわかってきた。知識がふえた。

自分の住んでいる近くの名所(神社、仏閣)を詳しく説明していただき、勉強になった。ふるさとの再発見ができた良かったです。

近くに住みながら知らないことも多く楽しかった。もう一度ゆっくり来たいものです。

子ども達も、色づいた落ち葉をひろったり、車の少ない遊歩道など(下条川べりの)利用したことは大変良かったです。

【砺波地区の感想】

知らないことがたくさんあって、とても勉強になりました。

実際に「前方後円墳」を見られたのでよかったです。

僕たちの住んでいる近くに遺跡があることがわかりました。

自分が学生だった頃に学んだ事が、新しい遺跡の発見などで変化しているということを知りました。やはり、こういう教室に参加させていただく事によって新しい知識を得る機会を与えていただけることに感謝しています。

地元にいながら初めて知ったことや目にふれたものがあり、新しい刺激になりました。

晴天に恵まれ、有意義な時間でした。小矢部の新たな面をみました

(6) 実施報告一覧

地区	新 川	富 山	高 岡	砺 波
実施日時	10/23日(土) 9:00~15:30	11/13(土) 14:00~17:00	11/14(日) 9:00~12:00	11/21(日) 13:00~17:00
実施団体	黒部川扇状地研究所	蜷川地区ふるさとづくり推進協議会	小杉ボランティアこだまグループ	ふるさと学園・桜町縄文土器の会
学習テーマ	「ウォーターランド 黒部川扇状地一周！」	「昔の蜷川を知ろう！」	「校下の寺院や神社の由来を知ろう！」	「小矢部のいにしえ人の足跡をたどろう！」
ふるさとクイズについて	事前に2題のクイズを知らせておいたことにより、調べたりして積極的な姿勢で教室に参加した。 ふるさとに関して何気なく見たり聞いたりしたことを改めてクイズとして出題したので、ふるさとについて意外に知らなかったことに驚かされたようである。 ふるさとに対して関心が高まったのではないかと。	「〇〇時代」というより、「どんな時に汗かく」に興味を示した。	パンフレットを見ながらクイズを考えていた方も、その場所に行ってみるまで解らない事(私はわかっていたが…)があり、出題した私もとても、皆さんの反応が気になりました。 意外と知っている方が少なかったもので、もう一度皆さんに解答を聞いてみたいと思いました。	発掘に関するクイズには、正解者が大変多く、興味を持って戴いていることが解り、うれしかったです。 参加申し込み書のクイズは、妥当だと思います。
ふるさと学びガイドについて	黒部川扇状地の4つの探検コースを想定し、扇状地の全体像がイメージできる航空写真ガイドの表面に配置した。裏面には、実際の主な探検ポイントの写真と簡単な解説を道路図の上に見やすく配置した。両面どちらも初心者向けの分かりやすいものを作成することができた。 今後の学習会のガイド、基礎的資料として活用してほしい。	色彩が美しいのと年表が出ていたので喜んでくださった。 地区内の地図をもっと詳しくすればよかった。	県民カレッジの皆さまに助けいただき出来上がりました。お寺やお宮の代表の方には、とても喜ばれました。また、外部の方にもとてもよく仕上がっていると喜んでいただきました。 これからも、活用してもらえとうれしいです。 カレッジの皆さまや印刷会社の方にお礼を言います。	市の教育委員会の協力を得て、作成したところ、分かりやすく丁寧な資料になりました。 今後、桜町遺跡のパンフレットとして活用していきたい。
ふるさととやま発見教室	コース設定について、参加者に児童とその保護者が多いことを考え、コースの解説の他に観察や体験などの活動を準備した。 児童からは、魚取りやわき水を見たり触れたりすることで、水の冷たさが実感できた喜びが聞かれた。また、暴れ川の過去とそれを防ぐ工夫等を知ったりして、新鮮な感動があったとの感想が多かった。加えて、学校では実感しにくい、ふるさとの素晴らしさを再認識する機会を提供できたと思う。 しかし、11月は他団体の行事が重なることが多いので、参加したくてもできなかったとの声も聞いた。	実施日程を決定するために、寺社の都合を考慮する必要があったので困った。	大人の方が多かったのですが、「今まで知らなかった事が多かった」との事でした。訪問先の住職の方や宮司の方に、詳しくお話しを聞くことができました。藤井右門のところでは、稲田先生にもお話しをしていただき理解が深まりました。 何度も訪問先に行き、お願いしていたことが良かったのではと思っています。 子供の参加を増やすことが課題です。	地元小矢部の人に多数参加して戴き、特に小中学生が多かった。 地元の遺跡を(若宮古墳)体験したことが有意義であった。 小矢部の古墳数の多いことと、様式の多様さに驚いた。 時間の都合で見学場所が制約され、一部カットしたことが残念であった。
今後の展望	実施時期については、当地区の学習は黒部川を中心とする学習なので、夏休みに実施することも考えていきたい。 児童を対象とした同種の企画が数多くなされているので、各団体との連携や調整を図りながら、実施することも視野に入れたい。	校下内の他町内にも関心が広がったのはうれしい。	またこのような機会があったら誘って下さいとの声があり、ありがたいと思っています。力をつけて第2、第3回の「ふるさと学び」ができればと思っています。 私たちも勉強、勉強です。	それぞれの地域の特色を活かした体験型イベントを考えたらどうか。
実施団体からアドバイス	参加対象を絞った取り組みとなるよう計画し、企画・運営にそのことが反映されるようにすることが大切である。 併せて、参加者や見学地の実態に即した案内ができるよう、実施スタッフの研鑽と育成が大切である。 実施日の設定は、他の団体のイベント計画とのすり合わせが必要である。	児童の引率に心配を感じる人が多い。 先輩から歴史を引き継いでいくには、資料を出版する必要がある。	時期(季節)を選ぶこと。今は小学生でもとても忙しい子供が多い事(クラブ活動や習い事の発表など)にびっくりしました。昔の子供の生活とは、かなり違っていることを知りました。 対象者を考えることの必要性を感じました。	小中学生の参加が多かったのは、日頃の地道な交流があったからと思われる。 これからは若い人たちを誘い込んでいくためにも、学校との連携が必要ではなからうか。
備考(メモ)	実施スタッフ11人 参加者51人(うち子ども24人) 学びあい人数62人	実施スタッフ3人 参加者63人(うち子ども11人) 学びあい人数66人	実施スタッフ3人 参加者31人(うち子ども4人) 学びあい人数34人	実施スタッフ6人 参加者65人(うち子ども33人) 学びあい人数71人

「ふるさと学習指導者セミナー」受講生の課題（企画書）の提出について

（様式 1）

1 趣旨

ふるさと学習指導者セミナーで学んだ内容を生かして、受講生が「ふるさと」をテーマにした講座やイベントを企画したり、「ふるさと」に係るクイズやマップなどを作成し、ふるさと学習の理解を深める。

2 企画内容（企画書作成のヒント参照）

(1) 「ふるさと学習」「ふるさと再発見」「ふるさと伝承」など、「ふるさと」をテーマにしたイベントや講座などを企画してください。

(2) 個人で企画されてもグループで企画されてもどちらでも可能です。

(3) 企画される講座やイベントの

- ①趣旨（目的）
- ②期間（実施時期）
- ③場所（会場）
- ④対象（参加者）
- ⑤定員
- ⑥内容
- ⑦費用 などを記載ください。

3 提出までの手順、日程

(1) 最初にご連絡いただきたいこと・・・10月15日（金）まで郵送・FAX等で

①企画の概要

②個人による企画か、グループによる企画か

} 様式1

(2) みなさんに参加をお願いすること

①「ふるさととやま発見教室」が県内4地区で実施されます。「ふるさと学習」の先行事例を体験して企画の参考にいただければ幸いです。

②「ふるさと教育推進フォーラム」が11月3日（水・祝）に実施されます。ふるさと教育の意義や必要性、現状と課題について意見交換があります。

(3) 企画書の提出・・・12月15日（水）まで郵送・FAX等で
県民カレッジ本部「ふるさと学習指導者セミナー」係あて提出

} 様式2、3

(4) 企画のサポート

内容等で疑問、質問が生じた場合は県民カレッジまで随時ご相談ください。

FAX送付先 076-441-6157

県民カレッジ企画管理課あて

10月15日（金）までご提出ください
（FAX・郵送・持参・メールなど）

1 企画書作成者（個人・グループのどちらかに○をお付けください）

企画者	氏名
個人	
グループ（代表者に☆）	

2 企画について

企画名（企画内容）	
企画した理由	
期待される効果	
企画の概要	

1 「ふるさと学習指導者セミナー」関連

4 資料編

企画書作成ワークシート（様式3を提出するための補助資料）

（様式2）

たたき台 → 検討項目 → 最終案

企画名			
趣旨（目的）			
期間（実施時期）			
場所（会場）			
対象（参加者）			
定員			
内容			
費用			
その他			

様式2 と 様式3 を12月15日（水）までご提出ください
（FAX・郵送・持参・メールなど）

（様式3）

ふるさと学習指導者セミナー 企画書提出

企画者名 （グループ名） （メンバー氏名）	
企画名	
趣旨（目的）	
期間（実施時期）	
場所（会場）	
対象（参加者）	
定員	
内容	
費用	
その他	

認定証

《氏名》 殿

あなたは富山県民生涯学習
カレッジが実施する「ふるさと
学習指導者セミナー」において
所定の課程を修了されまし
た。ここに「はつらつ学びのリー
ダー」として認定されたことを
証します。

平成二十三年二月五日

富山県民生涯学習カレッジ

学長 加藤敏久

(別紙様式)

「ふるさととやま発見教室」実施申込書

平成22年 月 日

富山県生涯学習カレッジ

学長 加藤敏久 殿

申込団体 _____

代 表 _____ 印

平成22年度ふるさと学びあい推進事業「ふるさととやま発見教室」を実施したいので、下記のとおり申し込みます。

記

団 体 名	
代表者氏名	
団体連絡先	〒 TEL
実施地区	() 市・町・村 () 地区
実施概要	

提出先：県民カレッジ本部「ふるさととやま発見教室」係宛
(お急ぎの場合は地区センターでも受付できます)

(様式1)

平成22年 月 日

富山県生涯学習カレッジ

学長 加藤敏久 殿

団体名 _____

代 表 _____ 印

平成22年度ふるさと学びあい推進事業「ふるさととやま発見教室」を実施したいので、下記のとおり申請します。

記

「ふるさととやま発見教室」実施申請書

予定地域	
予定学習テーマ	
実施スタッフ 人数と氏名	
実施スタッフ リーダーの連絡先	〒 TEL () - FAX () -

(様式2)

「ふるさととやま発見教室」実施計画書

実施団体名()

事業名	ふるさととやま発見教室 (新川・富山・高岡・砺波)地区	
学習テーマ		
日 時	平成22年()月()日() (:) ~ (:)	
実施条件	(雨天決行 ・ 小雨決行 ・ 雨天順延 ・ 雨天中止)	
場 所	()市立()小学校区 集合場所()	
実施スタッフ氏名	.	
参加者	親子、地域住民 () 名程度を予定	
概 要		
事前学習希望	・地区センター学習室の使用希望(有()日間・無()) 理由() ・その他()	
ふるさと学習 セミナー受講希望	1 生涯学習と「ふるさと教育」 2 生涯学習団体とボランティア指導者 3 指導者の技能向上とコミュニケーション能力開発 4 ふるさと学びガイドの企画について 5 ふるさと学びガイドの作成と活用について 6 地域イベントの運営について 7 報告会・総括 8 まとめ・評価	(有 ・ 無) 受講者名 () () () ()
※発見教室実施 団体の方は無料で 受講できます。		
必要経費 (予定額)	・「ふるさと学びガイド」印刷代…()円	
	・学習教材費…()円	
	・取材活動費…()円	
※10万円を上限 に助成	・連絡通信費…()円	
	・その他(文房具代、デジカメ用メモリ代、講師謝礼、会場使用料など)	
	計()円	

35

(様式3)

平成22年 月 日

富山県生涯学習カレッジ 御中

団体名_____

代 表_____

平成22年度ふるさと学びあい推進事業「ふるさととやま発見教室」の実施に関わる助成金の振込口座は、下記のとおりです。

記

振込口座連絡書

住 所	自 宅	〒 _____ Tel. _____ - () -
金 融 機 関 名 (該当するものを○で囲む)	銀行 金庫 組合	本店・ 支店
預 金 種 類 (該当するものを○で囲む)	普通預金 ・ 当座預金 ・ その他 ()	
口 座 番 号	: : : : : (右詰め)	
フリガナ	: : : : : : : :	
口 座 名 義 人 氏 名	: : : : : : : :	

※口座がない場合は、県民カレッジ本部まで連絡ください。

(様式4)

平成22年度「ふるさととやま発見教室」開催要項(参加者募集用)

(新川 ・ 富山 ・ 高岡 ・ 砺波)地区

1	目的	地域の魅力を再発見し、ふるさとを学びあいましょう。
2	主催	()団体
3	日時	()月()日() (:)~(:)
4	場所	()地域 (集合場所:)
5	テーマ (学習内容)	
6	日程	集合 開始 (学習ルート) 終了 解散
7	参加者募集	(1)参加料 () (2)募集期間 ()月()日() ~ ()月()日() (3)申込方法 申込書を事前に申込先に提出 当日の申込みも可 (4)申込先 【持参の場合】実施団体、県民カレッジ本部、地区センター 【郵送の場合】県民カレッジ本部(教室前日まで必着) 【その他】当日の会場
8	その他	(1)教室開催にあたっては、イベント傷害保険に加入します。 (2)参加者には、県民カレッジより修了証が授与されます。 (3)希望者には、県民カレッジ単位5単位が認定されます。

36

(様式5)

平成22年 月 日

富山県生涯学習カレッジ

学長 加藤敏久 殿

団体名 _____

代表 _____ 印

平成22年度ふるさと学びあい推進事業「ふるさととやま発見教室」
実施報告について

標記について、関係書類を添えて報告します。

1 助成金精算額 金 _____ 円

2 関係書類

(1) 実施報告書(様式第6号)

(2) 実施調書(様式第7号)

(3) 支出の根拠を示す資料(領収書の写し等)

(様式6)

「ふるさととやま発見教室」実施報告書

実施団体名 ()

事業名	ふるさととやま発見教室 (新川 ・ 富山 ・ 高岡 ・ 砺波) 地区	
学習テーマ		
日 時	平成22年()月()日()(:) ~ (:)	
場 所	()立()小学校区	
参加人数	スタッフ(実施指導者)	名
	ボランティアスタッフ	名
	一般参加者	名
実施内容		
助成金精算額	・「ふるさと学びガイド」印刷代… () 円 ・学習教材費… () 円 ・取材活動費… () 円 ・連絡通信費… () 円 ・その他(文房具代、デジカメ用メモリ代、講師謝礼、会場使用料など) () 円 計 () 円	

(様式7)

「ふるさととやま発見教室」実施調書

事業名	ふるさととやま発見教室 (新川 ・ 富山 ・ 高岡 ・ 砺波) 地区
日 時	平成22年()月()日()(:) ~ (:)
実施団体名	
学習テーマ	
「ふるさとクイズ」について (感想や反省)	
「ふるさと学びガイド」について (感想や反省)	
「発見教室」について (感想や反省)	
今後の展望	
次に実施される団体へのアドバイス	

5 今年度のまとめと次年度に向けて

「ふるさと教育有識者懇談会」（平成 21 年度設置）においては、富山県の豊かで美しく、厳しさもある自然・風土の中で構築された歴史・文化に関する理解を深める「ふるさと教育」を、学校だけでなく社会全体で推進していくことが提言された。それを受け、県では今年度からふるさと教育の推進に力を入れている。

県民カレッジは、地域住民・親子が身近なふるさとを学ぶ機会「ふるさととやま発見教室」の開催支援、また、楽しくふるさとを学ぶ教材制作の助成を行い、そのために、郷土学習を行っている生涯学習団体やボランティアの活動を支援し、指導者としての育成を図るといった「ふるさと教育」を推進する事業をモデル的に実施した。

「ふるさと学習指導者セミナー」では、16 名が受講を修了し指導者の認定を受けた。実施された 8 回のプログラムでは、外部講師によるきめ細やかな内容、参加型の講義や活発な質疑応答が行われ、とても好評を得ていた。受講者は「ふるさと教育」の意義や知識を深めるとともに、それぞれの構想をふくらませ、独自の企画を立案するなど意味あるセミナーとなっていた。

4 地区で開催された「ふるさととやま発見教室」では、延べ 210 名の県民が、身近なふるさとの魅力を再発見し、知識や愛着を深めながら元気に現地を歩き学んでいた。また、ふるさとクイズを設定するなど、年齢を問わず楽しく学ぶ要素も含まれ、参加者の交流も深まった。教材として作成された「ふるさと学びガイド」は、各地域 1,000 部を制作し、教室のみならず地域の行事にも利活用されている。

一方で、モデル事業ということもあり、気づけなかったこと、工夫が必要であったことなど、次年度への次のような課題が見えてきた。

「ふるさと学習指導者セミナー」課題について、

- ①教室が実施できるまでには、指導者とそのグループの育成が必要であり、現況では足りていない。
- ②事例研究、実施体験、実習など実践的な内容のセミナーが必要である。
- ③受講者の立場から、セミナー開催の時期、場所など再検討が必要である。

次年度は、全県的に学びあいを実践できる指導者や、事業実施にあたり企画力、学習者への助言・相談、各種機関とのコーディネート能力をもつ人材が求められていることから、受講対象を広げ、より実践的なプログラムを提供する講座を実施する。また、ふるさと学習を行っている団体・サークル、ボランティアは意外と多く、その活動は知られていないものもあるので、指導者の掘り起こしも行いたい。

「ふるさととやま発見教室」課題について、

- ①参加者の募集には、学校や地域の行事等と重ならないような開催時期の検討が必要である。
- ②教材作成には、ノウハウなどの技術・技能の向上が必要である。

次年度は参加者募集や開催時期について、市町村・学校・地域と連携して検討する必要があるので、年度当初から協力依頼を進める。また、住民に身近なふるさとの魅力を知ってもらうため、ガイドを作成して残すことは大変重要である。マップガイド制作を全県的に広げるためのマニュアルづくりに取り組んでいきたい。

この報告書が、「ふるさと教育」の推進に役立ち、自立的な「ふるさと教育」が全県的に行われ、ひいては地域コミュニティの活性化につながることを期待しているところである。

平成22年度「ふるさと学びあい推進事業」報告書

編集・発行

富山県民生涯学習カレッジ

〒930-0096 富山市舟橋北町 7-1

TEL076-441-8401 FAX076-441-6157